

藤沢

2015年1月1日

第248号

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット



主な記事

- ・期待される「市民発電所づくり」
- ・第19回環境フェア盛大に
- ・藤沢の気象情報
- ・放射能測定地

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/
事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳
☎ / FAX 0466-87-4922

地球温暖化 この先は？

ペルーのリマで開かれていたCOP20（国連気候変動枠組条約締約国会議）が12月14日に終わった。会議では相変わらず、先進国と途上国の間でもめた。

もめたのは2点：①「共通だが差異のある責任」と②「先進国から途上国への支援金」である。いずれもまとまらず、COP20の最大の成果は、会議が決裂しないで、2015年末にパリで行われるCOP21で新しい国際的枠組みを合意するための手続きが維持されたことである。何も決まらず、問題が先送りされた。

CO2の3大排出国は、中国・米国・インドであり、2か国が発展途上国である。これらの国を含めた国際的合意ができなければ、CO2排出削減の効果がない。国際的合意が作られたとしても、新しい枠組み開始の目標年は2020年である。その間にも地球表層（大気と海洋）にCO2はどんどん溜まっていく。日本は原発再稼働をしようとする政府の腰が定まらず、削減目標さえ提出できない。

2013年は、人類の歴史上もっとも暑い年だった。海面上昇により、離島国は、存立さえ脅かされている。日本でも、気象災害が頻発している。世界の平均気温が産業革命時から2℃以上上がれば、地球の気候システムが変わるといわれている。いわゆるPNR（Point of No Return, 引き返してできない点）に近づいている。

最近の懸念材料は、原油価格の急落である。2013年には1バレルあたり110ドルであった米国産WTI原油の先物価格は、40ドルに近づいている。これはOPECが減産しないこと、世界の景気減速、米国のシェールガスオイルの生産拡大のためであるが、第2の石油浪費時代を招くかもしれない。そうなれば、CO2が今以上に、排出される。地球環境問題は、正念場を迎えている。

東北大学名誉教授 川崎 健



セキレイ 川名清水谷戸で(山名氏提供)

期待される「市民共同発電所づくり」エネルギー循環型の地域をめざして

藤沢市は、低炭素都市をめざし 2022 (H34) 年までに 1990 年比で CO₂ の 40%削減目標を決定しています。既に、2012 年までに、27%削減を実現。昨年度「藤沢市地球温暖化対策実行計画（改訂版）」を策定し、本年度は「藤沢市エネルギーの地産地消検討会」が設置され、具体的な推進計画の策定と実施事業の選定が進められています（「藤沢市エネルギー地産地消推進計画（あらまし）」参照）。HP の「計画のあらまし」：検索「藤沢市役所」→「環境計画」

この特徴は東電に売電するのではなく、地域で発電したエネルギーを地域で消費する「エネルギーの循環」をめざすことです。これに市内の多くの事業所が参加することで、大幅な CO₂ 削減が期待されます。

さらに、「市民主体型の地産地消のしくみづくりのプロジェクト」が加わりました。

この事業への参加は、法人（事業所・学校・協同組合・社団・NPO など）で、その設備費等事業費の 1/2 は環境省の助成が得られます。マンション管理組合・共同住宅なども参加の可能性はありそうです。

低炭素都藤沢市の実現を願って、昨年、11/15 に「地産地消エネルギーをすすめる藤沢市民の会」が発足しました。

CO₂ 削減のために、原発に頼らない自然・再生エネルギーによる循環型社会（発電供給者と電力消費者のネットワークづくり）をめざし「エネルギーの地産地消しくみづくりプロジェクト」に参加し、藤沢に地域モデルをつくることが期待されています。

★「藤沢市エネルギー地産地消推進計画（あらまし）」についてのパブリックコメント（市民意見公募）が 12/11～1/9 に募集中です

前回「地球温暖化対策実行計画（改訂版）」のパブコメは、たった 13 名しか参加者がなかったもので、広く市民の声が反映されていたとはいえない。この実行計画（改訂版）では、温室効果

ガスの削減目標達成のための基本方針の 1 に「市民・地域・行政の力を活かした地域からの行動」を掲げ、この取り組みは、「市民・事業者・NPO 法人等・大学・行政の力を最大限活かし、それぞれの主体の協働・連携のもと、主体自らが実践できるよう役割を明確にしながら進めます」とあります。今回の「藤沢市エネルギー地産地消推進計画（あらまし）」はこれを発展させたものです。パブコメが充実したものであるかどうかは、民主主義のバロメーターであるといっても過言ではありません。

藤沢市の HP から「計画のあらまし」をダウンロードし、パブコメに参加する（藤沢市環境総務課 ファックス 50-8417 へ）と共に、来年度から、本格化するこの事業（設備費等事業費の 1/2 は環境省の助成）に、市民参加型で藤沢の市民エネルギー事業に参加することが期待されています。

（宮地俊作）

★ Information

日時：2015 年 1 月 13 日（火）

18：00～20：00

場所：日本大学 7 号館会議室 (3F)

（小田急線六会日大前駅下車徒歩 10 分・駐車場もあります）

（初めての方は、正門守衛室で道をお尋ねください）

内容：市民共同発電所づくりの課題と今後の取り組み

その後、時間のある方で二次会を予定しています

主催：地産地消エネルギーをすすめる藤沢市民の会

会場準備の都合があります。できるだけ

事前に参加申込みをしてください。

連絡先：携帯 090-6186-0452,

E-mail: shn-miya@jcom.home.ne.jp（宮地俊作）



第19回 藤沢環境フェア盛大に 未来の君たちへ!! 藤沢ECO2まつり2014

今年も第19回環境フェアが市民会館で12月13日に行われました。イベント会場は第1展示ホールと第2展示ホール、前庭ではエコカーの展示や包丁研ぎ、手作り石けんなどの他、野菜の即売もありトイレットペーパーとりゲームもあり、賑やかでした。

展示は各団体・企業が趣向を凝らした内容で、クイズラリーの答えをさがしに小学生や親子連れでにぎわい全部回答したらボールペンなど賞品と引き換えていました。抽選会は2回あり各10人が当たり豪華な賞品をゲットしていました。



藤沢エコネットでは、空気の汚れ(NO2)を測定した結果と、市内小中学校におけるぜん息の罹患率をグラフにし展示、また「地産地消エネルギー検討」のためワークショップを行い、まとめて提言した内容を展示し、その他クイズの答えであるアンケート結果や自然エネルギーの現状の表を展示しました。各団体の展示もよく見ることができ、団体紹介もありましたが、もっと大勢の入場者が来ていただけたら良かったと思います。

午前には別室ではドキュメンタリー映画「パワー・トゥ・ザ・ピープル」の上映会が行われました。

10年かけてデンマークのサムソ島で100%クリーンエネルギー化を実現した取組。オランダで協同組合設立の取組、国こそ違いますが参考になりました。

オランダのテセル島はエネルギー協同組合を設立

し、再生可能エネルギーの生産に島民を参加させ電力の自給自足を目指しています。顔の見える住民同士が大企業に頼らず、自分たちで運営するグループ保険『ブラッド基金』に地域住民がお金を出し合い、困ったときに資金を融通する、住民同士の信頼に基づいた保険です。再生可能エネルギーを導入することで、地域でお金が循環し、人々がエネルギーを活かしている様子がわかります。

映画の後、藤沢での自然再生エネルギーの取り組みなどをテーマに自由に懇談しました。

映画の感想をいただきました。

＊映画はとても良かった。起業には価値観だけでなく利害関係も共有できる人たちが重要と感じた。せっぱつまった動機があった。

市民発電所は資金調達と議会の承認をどう得るかがポイントと思う。

＊藤沢で太陽光による再生可能エネルギーの発電が実現することを切に願っています。

＊エネルギー革命を達成するために、藤沢市といっしょに我々市民が一躍を担うことができれば素晴らしいと思いました。

＊市民に広くこの映画を見せることが必要ですね。問題提起をしなければダメですね。

＊「エネルギー組合」の企画が進んでいるのを知らなかったのもとても参考になりました。

＊展示にかかっていてみられず残念です、観たかった!という方もいました。(日比 遥)



クイズスタンプラリー抽選会の様子

藤沢の気象情報

12月15日の寒波で0.5℃

藤沢気象ステーション12月14日に、東京で初雪となりました。平年より20日（平年は1月3日）、昨年より6日早まりました。気象庁では、初雪の定義を次の様に決めています。寒候期（10月～3月）の期間に初めて降る雪、あるいはみぞれでも初雪としています。みぞれとは、雪と雨が混ざった状態で、雪が溶けた雨と溶けない雪と一緒に降ります。

東京では、17時50分頃にみぞれが降り、初雪になりました。この時の、藤沢気象ステーションのデータを見ると、6.5℃でした。私の自宅周辺でも路面が濡れて、自転車のタイヤがキシキシ鳴っていたので、みぞれだったかも知れません（降っている状態を見た感じでは雨のようでしたが注意しませんでした）。

東京で初雪となった14日以降、藤沢気象ステーションの気温は徐々に低下し、15日早朝の4時30分頃に0.5℃の低温を記録しました。今年の寒候期の最低気温です。現在、北極周辺の気圧が非常に低く、寒気が低緯度へ流下していることが原因です。

冬の日本列島の気候は、エル・ニーニョなどの熱帯海洋の現象よりも北極周辺の気象に強く依存します。この記事が掲載されるころには、さらに寒くなっていることでしょう。

林 陽生（NPO 法人シティ・ウォッチ・スクエア）



放射能測定値

11月～12月に市民が計測したものです
(HOROBA Radi) 単位(μSv/h)

桐ヶ谷公園	50cm	0.047
湘南台公園滑り台下	50cm	0.033
片瀬江ノ島観光協会前	50cm	0.077
片瀬すばな通り道側溝上	5cm	0.088
片瀬漁港砂の上	5cm	0.036
片瀬漁港休憩所	50cm	0.026
12/6 市民会館室内		0.044

ECONET INFORMATION

パブリックコメント（市民意見公募）募集
「藤沢市エネルギー地産地消推進計画（あらまし）」について 期間12/11～ 1/9

提出先：環境総務課 fax：0466-50-8417

環境総務課、市役所受付案内、市政情報コーナー、各市民センター・公民館で閲覧できます。

環境バスツアー 1月29日（木）

東京ガス根岸工場 キリンビール横浜工場を見学
とき1月29日（木）9:00-17:00

申込み：環境総務課1月6日（火）-1月15日（木）

☎25-1111 内線3311 fax：0466-50-8417

◎「エネルギーの地産地消をすすめる藤沢市民の会」

日時：2015年1月13日（火）18:00～20:00

場所：日本大学7号館会議室(3F)

（初めての方は、正門守衛室で道をお尋ねください）

内容：市民共同発電所づくりの課題と今後の取組

藤沢エコネットから

会費・購読料の納入をお願いします

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 737 737

（従来用紙の方法も利用できます）

会員募集＝年会費・購読料→3000円

◎事務局会議 1月8日（木）14:00～

市民活動推進センター

《編集後記》新年おめでとうございます。

昨年一年間はめまぐるしい年であった。良かったことは原発が一基も稼働しなかったこと、赤崎勇、天野浩、中村修司氏がノーベル賞を受賞したこと、スポーツ界では錦織圭、羽生結弦選手らの活躍だった。一方、御嶽山の噴火、広島の高雨土砂災害、白馬や小谷村の地震による被害など多くの方が犠牲となった1年でもあった。藤沢では戦後1951年に建てられた旧庁舎は「人口30万都市になっても対応できる」と誇った建物だったが取り壊され新たに建設が始まる。市民のよりどころとなる施設になって欲しい。地球温暖化は進み藤沢でも新たな運動が始まったことは喜ばしいが、福島原発事故を忘れてはいけない。今年もできる限り、読みやすい紙面にと心がけたい。寄稿、情報などを寄せていただきたい。

本年もどうぞよろしくお願い致します。(H)